



6月うぶやま天文台星空情報 3

月が火星に接近



天空が広がるうぶやまの高原には、爽やかな夏風が吹き始めました。
梅雨前で、天候が不順で、くっきり晴れた星空は望めませんが、それでもわずかの晴れ間に期待しましょう。
星空は東から夏の星座が昇り始め、春の星座は西へと沈み始めています。
しし座、おとめ座などが次々に西に沈み。変わって、さそり座、こと座、はくちょう座が次々に東の空から昇ってきます。

空が暗くなった宵の時間帯、西の空には赤っぽい色をした火星(1.4 等級)が輝いています。

6 月 1 日には月が火星に近づいて見えます。1 日は、太陽が沈む前から、半月よりやや細い月が、青空の中の南西の空に見えるでしょう。

太陽が沈み、空が暗くなってくると、西の空へと位置を写した月の左下に寄り添うような地に火星が見え始めます。

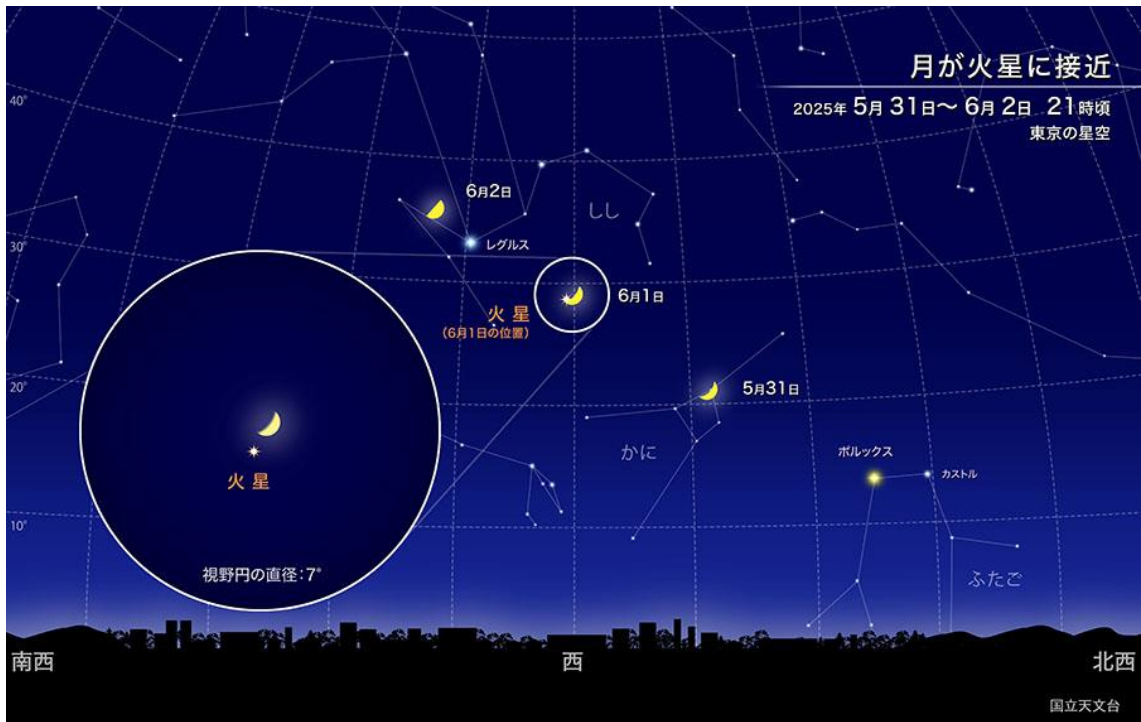
月が火星に最も近づいて見えるのは 21 時頃で、この時の離角は約 37 分角です。

なお、離角は各天体の中心間の角度を表しているため、月の光っている縁と火星との角度はもう少し近づいており、約 21 分角となります。この時の月の直径は 31 分角ほどですので、それとくらべてもかなり近づくことがわかります。

この様子は肉眼でも見えますが、双眼鏡を使うと、さらにはっきり見ることができます。

また、わし座の 1 等星アルタイル、こと座の 1 等星ベガ、はくちょう座の 1 等星デネブを結ぶ夏の大三角、それらを横切る天の川が、産山では素晴らしく良く見えます。

そして、20 時 30 分頃南中する全天最大の球状星団 ω (オメガ) 星団も見頃です。



月が火星に接近



ヘルクレス座の球状星団 M13 こと座のドーナツ星雲 M57 こぎつね座の亜鈴状星



いて座の球状星団 M22



ω(オメガ)星団